



HOME PARTY 05

TURN _____ ときをかさねる

池田晶紀＋川瀬一絵

「社会福祉法人きょうされん リサイクル洗びんセンター」にて

久保田沙耶

「社会福祉法人松花苑 みずのき」にて

みずのき美術館 = 2019年2月24日(日) - 3月24日(日)

10:00-18:00 月・火曜日休館(但し祝日の場合は開館) 入館料無料

シンマチサイト = 2019年3月1日(金) - 3月17日(日)

10:00-18:00 会期中無休 入館料無料

主催：きょうと障害者文化芸術推進機構(京都府)、社会福祉法人松花苑みずのき美術館

企画協力：東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

協力：社会福祉法人きょうされんリサイクル洗びんセンター、山山アートセンター、社会福祉法人みねやま福祉会Ma・RooTs

みずのき美術館



みずのき美術館のアンニアル企画「HOME PARTY」展は、ホームパーティーのように、互いの作品やアイデアを持ち寄って美術館に集まり、春の訪れを祝います。今回は、2015年より東京都等が進めるアートプロジェクト「TURN」をきっかけに出会ったアーティストと福祉施設の人々を、亀岡をメインに福知山と宮津の3つの会場でご紹介します。

東京・昭島で障害のある人たちが働く「きょうされんりサイクル洗びんセンター」で、2015年から交流を重ねてきた池田晶紀と川瀬一絵。二人は、洗びんセンターの人たちの働く様子やグループホームでの日常の暮らしを、数年をかけゆっくりと距離を縮めながら、映像と写真で撮り取ってきました。

また久保田沙耶は、2017年より、京都・亀岡の障害者支援施設みずのきでの滞在をとおして、利用者の人たちがみせる様々な表現行為に出会い、彼らの行為を模倣することで、生活と表現と創作の境界を捉えようと試みました。「出会い」とは、一人ひとりが持つ固有の時間が他者のそれと重なった瞬間とすることができるでしょう。また、他者と関係を築くためには、当然時間を要します。この2つの意味で「ときかさねる」ことに向き合ったそれぞれの交流の時間が、春めく京都に集いました。

TURNとは……障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称。2015年、東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都のリーディングプロジェクトの一つとして始動した後、2017年度より、東京2020公認文化オリンピックアードとして実施しています。

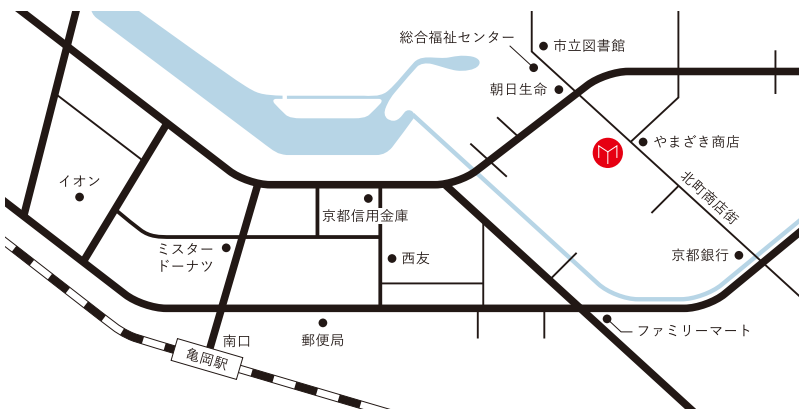
関連企画

●アーティストトーク

2019年3月2日(土) 14:00~15:30 会場：みずのき美術館 ※無料・予約不要
 ゲスト：池田晶紀、川瀬一絵、久保田沙耶 モデレーター：奥山理子(みずのき美術館キュレーター)

●上映会「好きなもの」・「ロードショー」

2019年3月17日(日) 13:00~15:30 会場：社会福祉法人みねやま福祉会Ma・Roots(マ・ルート)
 ※無料・予約不要 ※上映会終了後にはアフタートークを実施します
 登壇：榎田啓(マ・ルート実習センター長)、稲穂涼平(マ・ルートワンダーハーバー障がい部門主任)、
 ほかも・ルート現場職員、イシワタマリ(美術家、山山アートセンター代表)、奥山理子



みずのき美術館

〒621-0861 京都府亀岡市北町18 TEL 0771-20-1888 FAX 0771-20-1889 www.mizunoki-museum.org
 JR嵯峨野(山陰)線亀岡駅南口下車徒歩8分 ※美術館に駐車場はございません。



シンマチサイト(旧さいとう家具店)
 〒620-0029 京都府福知山市下新3
 TEL 090-9147-0374(朝重)



社会福祉法人みねやま福祉会Ma・Roots
 〒626-0061 宮津市宇波路716-3
 TEL 0772-20-1150



池田晶紀 《ロードショー》 出演：高橋正浩 2017



池田晶紀 《好きなもの》 2017



川瀬一絵 《Portrait》 2017



久保田沙耶 《だれのためでもないもの》 2018

池田晶紀(いけだ・まさのり)

写真家。横浜市生まれ。1999年自ら運営していた「ドラックアウトスタジオ」で発表活動始める。2003年よりポートレート・シリーズ『休日の写真館』の制作・発表を始める。2006年写真事務所「ゆかい」設立。国内外で個展・グループ展多数。アーティスト三田村光土里とのアートユニット「池田みどり」としても活動。

川瀬一絵(かわせ・かずえ)

写真家。島根県出雲市生まれ。島根大学教育学部、東京総合写真専門学校卒業。テーマを定めずに衝動的に撮り、それらを編集しながら衝動的の訳を探るような作品づくりをしている。国内外で個展・グループ展多数。

久保田沙耶(くぼた・さや)

美術家。茨城県生まれ。筑波大学芸術専門学群卒業。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻油画研究領域卒業。日々の何気ない光景や人との出会いによって生まれる記憶と言葉、それらを組み合わせることで生まれる新しいイメージやかたちを作品の重要な要素としている。プロジェクト「漂流郵便局」(瀬戸内国際芸術祭2013)、「コレデ堂」(鳥取)など。